

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限	
主投資対象	「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。直接公社債等に投資する場合があります。	
運用方針	しんきん先進国債券インデックス (為替ヘッジあり) (投資一任用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドの受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</li> </ul>
	しんきん先進国債券インデックス (為替ヘッジなし) (投資一任用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドの受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
	為替ヘッジあり／ 為替ヘッジなし (共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</li> <li>市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主投資制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
収益分配方針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>	

## 運用報告書(全体版)

しんきん先進国債券インデックス  
(為替ヘッジあり)(投資一任用)  
(為替ヘッジなし)(投資一任用)

決算日

(第4期:2025年11月20日)


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用) / (為替ヘッジなし)(投資一任用)」は2025年11月20日に第4期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社  
 <コールセンター> ☎ 0120-781812  
 (土日、休日を除く) 携帯電話からは03-5524-8181  
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

# 目 次

---

◇しんきん先進国債券インデックス	頁
為替ヘッジあり（投資一任用） .....	1
為替ヘッジなし（投資一任用） .....	9
分配金のお知らせ .....	17
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド .....	18

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース) <sup>*</sup> (ベンチマーク)		債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金 込 分	み 期 騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(設定日)	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
2022年2月18日	10,000	—	—	10,000	—	—	0.1
1期(2022年11月21日)	8,034	0	△19.7	8,718	△12.8	94.6	0.1
2期(2023年11月20日)	6,655	0	△17.2	8,260	△5.2	97.7	1
3期(2024年11月20日)	6,592	0	△0.9	8,218	△0.5	96.9	19
4期(2025年11月20日)	6,604	0	0.2	8,236	0.2	99.4	19

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投資が算出したものです。（以下同じ。）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース) <sup>*</sup> (ベンチマーク)		債券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首)	円	%	ポイント	%	%
2024年11月20日	6,592	—	8,218	—	96.9
11月末	6,645	0.8	8,287	0.8	94.3
12月末	6,522	△1.1	8,123	△1.2	97.8
2025年1月末	6,537	△0.8	8,146	△0.9	95.3
2月末	6,599	0.1	8,231	0.2	94.5
3月末	6,566	△0.4	8,186	△0.4	96.7
4月末	6,619	0.4	8,255	0.4	95.8
5月末	6,553	△0.6	8,166	△0.6	97.5
6月末	6,586	△0.1	8,205	△0.2	97.4
7月末	6,544	△0.7	8,161	△0.7	97.6
8月末	6,570	△0.3	8,190	△0.4	96.8
9月末	6,589	△0.0	8,219	0.0	97.2
10月末	6,631	0.6	8,271	0.6	97.9
(期末)					
2025年11月20日	6,604	0.2	8,236	0.2	99.4

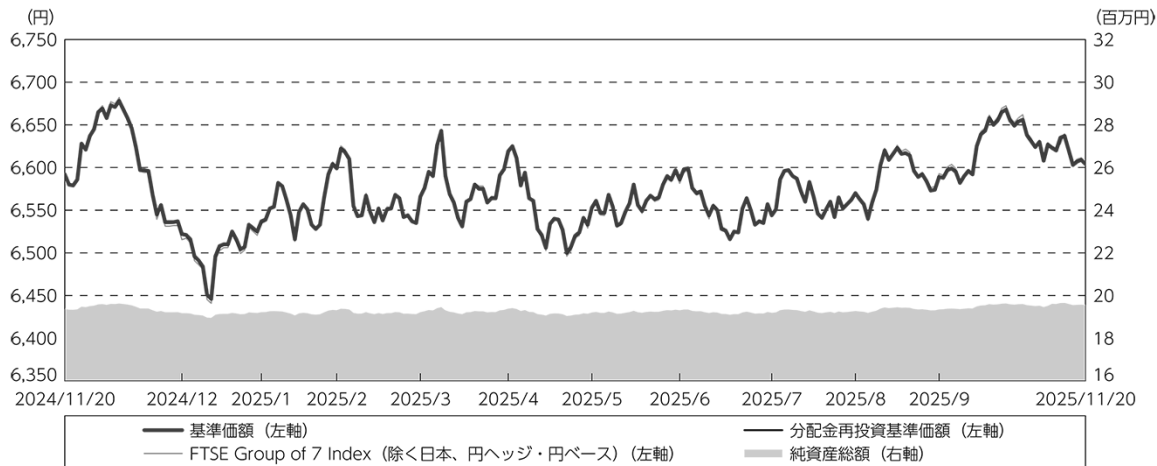
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第4期の運用経過等（2024年11月21日～2025年11月20日）

<当期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、期首(2024年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注3) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)です。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・2025年8、9月の米雇用統計が米国の労働市場の冷え込みを示す結果となったため、米連邦準備制度理事会(FRB)による利下げ期待が市場で高まったこと。

<下落要因>

- ・2025年4月に相互関税をめぐり、トランプ政権の対応が二転三転したことで、同政権による政策への不信感が強まり、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったこと。

## ＜投資環境＞

### （米国債券市況）

当期初から2025年1月中旬にかけては底堅い米経済指標や予想を上回る米消費者物価指数（CPI）の伸び率などを背景に市場の利下げ観測に後退が見られる中、米10年国債利回りは上昇基調で推移し一時4.8%程度まで上昇しました。トランプ大統領就任後、打ち出された政策が事前の想定範囲内であり財政悪化懸念が後退したことや、予想を下回るCPIの伸び率等から同利回りは低下基調での推移となりました。4月には相互関税をめぐり、トランプ政権の対応が二転三転したことで、同政権による政策への不信感が強まり、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったことで、同利回りは上昇しました。その後8、9月の米雇用統計が米国の労働市場の冷え込みを示す結果となったため、FRBによる利下げ期待が市場で高まったこと等を背景に、同利回りはおおむね低下基調での推移となり、期末時点では4.1%程度の推移となりました。

### （欧州債券市況）

当期初から2024年11月末にかけては12月の欧州中央銀行（ECB）政策理事会で0.5%の利下げが実施されるとの観測が高まったこと等を受け、ドイツ10年国債利回りは低下基調で推移しました。12月のECB政策理事会で追加利下げが決定されたものの、利下げ加速への期待にECBが否定的な見解を示したと市場で受け止められたこと等を背景に、同利回りは上昇基調で推移しました。2025年3月上旬にドイツのキリスト教民主同盟（CDU）と社会民主党（SPD）が、政府支出の大幅な増加と債務規制の見直しに合意したこと等を受け、ドイツの国債発行が増加するとの見通しが市場で高まり、同利回りは一時2.9%程度まで上昇しました。4月から当期末にかけての同利回りは方向感の乏しい展開となり、おおむね2.4～2.8%のレンジ内で推移しました。

### （為替市況：ドル円市場）

当期初から2024年12月末にかけては、日銀による利上げへの観測の高まりから、円高に推移する場面もありましたが、米国景気の堅調さや、2024年12月の金融政策決定会合で日銀が利上げを見送ったこと等を背景に米ドル高円安基調で推移しました。2025年1月の金融政策決定会合で日銀が利上げを決定したこと等を背景に、米ドル高円安基調に転じました。その後もトランプ政権の政策に対する不透明感が強まったことや世界的な景気減速懸念が高まったことで、市場でリスク回避の動きが優勢になり、さらに米ドル高円安基調で推移し、一時的に140円を割り込む水準まで円高が進行しました。4月下旬から当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合で金融政策の現状維持が決定され、植田総裁が記者会見で利上げに対して慎重な発言をしたこと、10月上旬の自民党総裁選で高市氏が勝利し、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極財政による財政悪化懸念が広がったことから米ドル高円安基調での推移が続きました。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当期初から2025年5月にかけては、ドイツのCPIやユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）の速報値により上下した欧州国債利回りの影響、日銀による利上げへの観測、ECBによる利下げへの観測等を受けて、ユーロ円はもみ合う展開が続き、おおむね155円から165円のレンジ内で推移しました。その後は、ECBが6月の政策理事会で0.25%の追加利下げを決定しましたが、ラガルドECB総裁が記者会見で、金融サイクルが終わりに近づいている可能性を示唆したことを受け、市場での追加利下げの観測が後退したことや、日銀の金融政策決定会合で、金融政策の現状維持が決定され、植田総裁が記者会見で利上げに対して慎重な発言をしたこと等を受けてユーロ高円安基調での推移が続きました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.18年、時価最終利回りは3.64%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+0.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+0.2%となり、ほぼベンチマークに連動した運用を行うことができました。

## ＜分配金＞

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2024年11月21日～ 2025年11月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	309

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年11月21日～2025年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 13	% 0.198	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(11)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 1 )	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	10	0.147	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 7 )	(0.112)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 2 )	(0.031)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	23	0.345	
期中の平均基準価額は、6,580円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

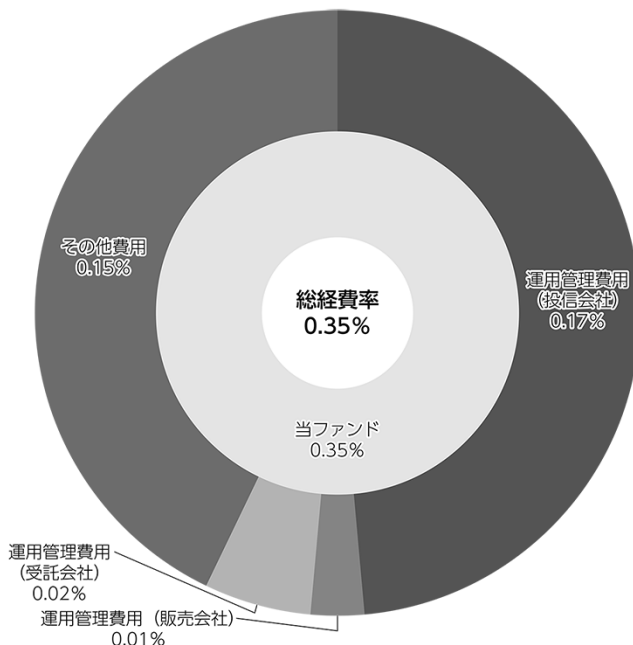
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.35%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

## ○売買及び取引の状況

（2024年11月21日～2025年11月20日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 680	千円 800	千口 1,334	千円 1,650

（注）単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2024年11月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2024年11月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2024年11月21日～2025年11月20日）

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
千円 20,000	千円 -	千円 -	千円 20,000	商品性を適正に維持するための取得

## ○組入資産の明細

（2025年11月20日現在）

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 15,720	千口 15,066	千円 19,835

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

## ○投資信託財産の構成

（2025年11月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
しんきん先進国債券インデックススマザーファンド	千円 19,835	% 98.2
コール・ローン等、その他	360	1.8
投資信託財産総額	20,195	100.0

（注1）評価額の単位未満は切り捨て。

（注2）しんきん先進国債券インデックススマザーファンドにおいて、2025年11月20日現在における外貨建純資産（3,993,025千円）の投資信託財産総額（3,997,013千円）に対する比率は99.9%です。

（注3）外貨建資産は、2025年11月20日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2025年11月20日現在、1ドル=157.29円、1カナダドル=111.96円、1ユーロ=181.34円、1ポンド=205.31円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年11月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	39,499,357
コール・ローン等	359,836
しんきん先進国債券インデックススマザーファンド(評価額)	19,835,189
未収入金	19,304,329
未収利息	3
(B) 負債	19,945,474
未払金	19,925,822
未払信託報酬	19,226
その他未払費用	426
(C) 純資産総額(A-B)	19,553,883
元本	29,610,400
次期繰越損益金	△10,056,517
(D) 受益権総口数	29,610,400口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,604円

（注1）当ファンドの期首元本額は29,383,746円、期中追加設定元本額は371,800円、期中一部解約元本額は145,146円です。

（注2）1口当たり純資産額は0.6604円です。

## ○損益の状況（2024年11月21日～2025年11月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	836
受取利息	836
(B) 有価証券売買損益	95,889
売買益	3,580,147
売買損	△3,484,258
(C) 信託報酬等	△62,504
(D) 当期損益金(A+B+C)	34,221
(E) 前期繰越損益金	△857,724
(F) 追加信託差損益金	△9,233,014
(配当等相当額)	(76,599)
(売買損益相当額)	(△9,309,613)
(G) 計(D+E+F)	△10,056,517
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△10,056,517
追加信託差損益金	△9,233,014
(配当等相当額)	(77,032)
(売買損益相当額)	(△9,310,046)
分配準備積立金	839,775
繰越損益金	△1,663,278

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（441,056円）、費用控除後の有価証券売買等損益額（0.0円）、信託約款に規定する収益調整金（77,032円）および分配準備積立金（398,719円）より分配対象収益は916,807円（10,000口当たり309円）ですが、当期に分配した金額はありません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) <sup>*</sup> (ベンチマーク)		債券組入比率	純資産額	
		税金	分配	み騰	期中騰落	騰落			中率
(設定日) 2022年2月18日	円 10,000			円 -	% -	ポイント 10,000	% -	% -	百万円 0.1
1期(2022年11月21日)	10,384			0	3.8	10,387	3.9	98.8	2
2期(2023年11月20日)	11,202			0	7.9	11,232	8.1	97.5	12
3期(2024年11月20日)	12,053			0	7.6	12,084	7.6	97.3	20
4期(2025年11月20日)	13,023			0	8.0	13,110	8.5	96.2	30

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) <sup>*</sup> (ベンチマーク)		債券組入比率
	騰落率	騰落率	騰落	騰落率	
(期首) 2024年11月20日	円 12,053	% -	ポイント 12,084	% -	% 97.3
11月末	11,828	△1.9	11,996	△0.7	97.3
12月末	12,161	0.9	12,226	1.2	97.1
2025年1月末	11,923	△1.1	12,033	△0.4	97.2
2月末	11,731	△2.7	11,870	△1.8	96.0
3月末	11,851	△1.7	12,013	△0.6	97.3
4月末	11,621	△3.6	11,707	△3.1	97.0
5月末	11,648	△3.4	11,781	△2.5	96.9
6月末	11,925	△1.1	12,033	△0.4	97.1
7月末	12,149	0.8	12,240	1.3	96.3
8月末	12,119	0.5	12,227	1.2	95.9
9月末	12,351	2.5	12,451	3.0	96.3
10月末	12,815	6.3	12,957	7.2	95.7
(期末) 2025年11月20日	円 13,023	% 8.0	ポイント 13,110	% 8.5	% 96.2

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第4期の運用経過等（2024年11月21日～2025年11月20日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、期首(2024年11月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注3) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)です。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・2025年10月上旬の自民党総裁選で高市氏が勝利し、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極財政による財政悪化懸念が広がったことから円安基調での推移となったこと。

＜下落要因＞

- ・2025年4月に相互関税をめぐる、トランプ政権の対応が二転三転したことで、同政権による政策への不信感が強まり、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったこと。

## ＜投資環境＞

### （米国債券市況）

当期初から2025年1月中旬にかけては底堅い米経済指標や予想を上回る米消費者物価指数（CPI）の伸び率などを背景に市場の利下げ観測に後退が見られる中、米10年国債利回りは上昇基調で推移し一時4.8%程度まで上昇しました。トランプ大統領就任後、打ち出された政策が事前の想定範囲内であり財政悪化懸念が後退したことや、予想を下回るCPIの伸び率等から同利回りは低下基調での推移となりました。4月には相互関税をめぐり、トランプ政権の対応が二転三転したことで、同政権による政策への不信感が強まり、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったことで、同利回りは上昇しました。その後8、9月の米雇用統計が米国の労働市場の冷え込みを示す結果となったため、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待が市場で高まったこと等を背景に、同利回りはおおむね低下基調での推移となり、期末時点では4.1%程度の推移となりました。

### （欧州債券市況）

当期初から2024年11月末にかけては12月の欧州中央銀行（ECB）政策理事会で0.5%の利下げが実施されるとの観測が高まったこと等を受け、ドイツ10年国債利回りは低下基調で推移しました。12月のECB政策理事会で追加利下げが決定されたものの、利下げ加速への期待にECBが否定的な見解を示したと市場で受け止められたこと等を背景に、同利回りは上昇基調で推移しました。2025年3月上旬にドイツのキリスト教民主同盟（CDU）と社会民主党（SPD）が、政府支出の大幅な増加と債務規制の見直しに合意したこと等を受け、ドイツの国債発行が増加するとの見通しが市場で高まり、同利回りは一時2.9%程度まで上昇しました。4月から当期末にかけての同利回りは方向感の乏しい展開となり、おおむね2.4～2.8%のレンジ内で推移しました。

### （為替市況：ドル円市場）

当期初から2024年12月末にかけては、日銀による利上げへの観測の高まりから、円高に推移する場面もありましたが、米国景気の堅調さや、2024年12月の金融政策決定会合で日銀が利上げを見送ったこと等を背景に米ドル高円安基調で推移しました。2025年1月の金融政策決定会合で日銀が利上げを決定したこと等を背景に、米ドル高円安基調に転じました。その後もトランプ政権の政策に対する不透明感が強まったことや世界的な景気減速懸念が高まったことで、市場でリスク回避の動きが優勢になり、さらに米ドル高円安基調で推移し、一時的に140円を割り込む水準まで円高が進行しました。4月下旬から当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合で金融政策の現状維持が決定され、植田総裁が記者会見で利上げに対して慎重な発言をしたこと、10月上旬の自民党総裁選で高市氏が勝利し、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極財政による財政悪化懸念が広がったことから米ドル高円安基調での推移が続きました。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当期初から2025年5月にかけては、ドイツのCPIやユーロ圏の購買担当者景気指数（PMI）の速報値により上下した欧州国債利回りの影響、日銀による利上げへの観測、ECBによる利下げへの観測等を受けて、ユーロ円はもみ合う展開が続き、おおむね155円から165円のレンジ内で推移しました。その後は、ECBが6月の政策理事会で0.25%の追加利下げを決定しましたが、ラガルドECB総裁が記者会見で、金融サイクルが終わりに近づいている可能性を示唆したことを受け、市場での追加利下げの観測が後退したことや、日銀の金融政策決定会合で、金融政策の現状維持が決定され、植田総裁が記者会見で利上げに対して慎重な発言をしたこと等を受けてユーロ高円安基調での推移が続きました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.18年、時価最終利回りは3.64%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+8.0%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+8.5%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディーフィー（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

## ＜分配金＞

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第4期
	2024年11月21日～ 2025年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,023

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年11月21日～2025年11月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	24	0.198	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.026	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	27	0.224	
期中の平均基準価額は、12,010円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

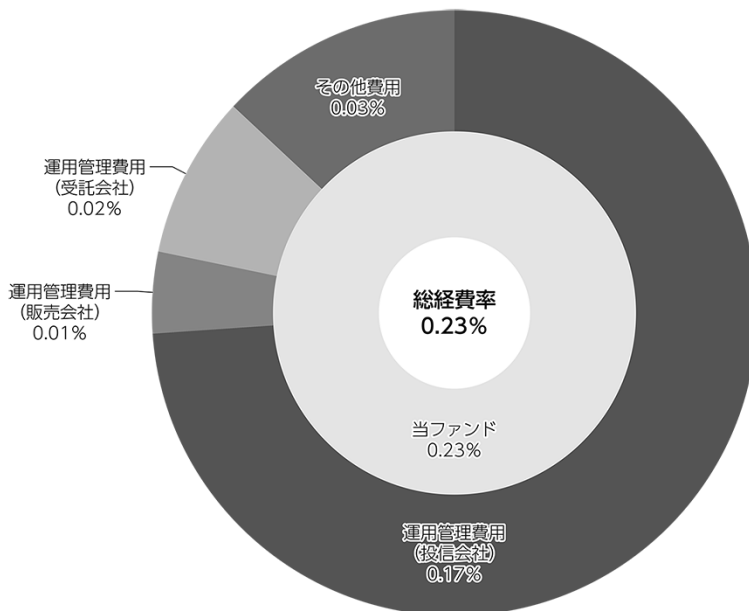
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.23%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジなし）（投資一任用）

## ○売買及び取引の状況

（2024年11月21日～2025年11月20日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 7,572	千円 9,220	千口 1,711	千円 2,100

（注）単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2024年11月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2024年11月21日～2025年11月20日）

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2024年11月21日～2025年11月20日）

当期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
千円 1,000	千円 -	千円 -	千円 1,000	商品性を適正に維持するための取得

## ○組入資産の明細

（2025年11月20日現在）

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千口 16,568	千口 22,429	千円 29,528

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジなし）（投資一任用）

## ○投資信託財産の構成

（2025年11月20日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	千円 29,528	% 97.9
コール・ローン等、その他	640	2.1
投資信託財産総額	30,168	100.0

（注1）評価額の単位未満は切り捨て。

（注2）しんきん先進国債券インデックスマザーファンドにおいて、2025年11月20日現在における外貨建純資産（3,993,025千円）の投資信託財産総額（3,997,013千円）に対する比率は99.9%です。

（注3）外貨建資産は、2025年11月20日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2025年11月20日現在、1ドル=157.29円、1カナダドル=111.96円、1ユーロ=181.34円、1ポンド=205.31円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年11月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	30,168,536
コール・ローン等	639,903
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド(評価額)	29,528,627
未収利息	6
(B) 負債	102,749
未払解約金	75,981
未払信託報酬	26,111
その他未払費用	657
(C) 純資産総額(A-B)	30,065,787
元本	23,086,000
次期繰越損益金	6,979,787
(D) 受益権総口数	23,086,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,023円

（注1）当ファンドの期首元本額は16,872,206円、期中追加設定元本額は9,649,972円、期中一部解約元本額は3,436,178円です。

（注2）1口当たり純資産額は1,3023円です。

## ○損益の状況（2024年11月21日～2025年11月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,053
受取利息	1,053
(B) 有価証券売買損益	2,249,064
売買益	2,341,472
売買損	△ 92,408
(C) 信託報酬等	△ 49,300
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,200,817
(E) 前期繰越損益金	1,371,323
(F) 追加信託差損益金	3,407,647
(配当等相当額)	( 1,627,362)
(売買損益相当額)	( 1,780,285)
(G) 計(D+E+F)	6,979,787
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	6,979,787
追加信託差損益金	3,407,647
(配当等相当額)	( 1,649,082)
(売買損益相当額)	( 1,758,565)
分準備積立金	3,572,140

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益（631,269円）、費用控除後の有価証券売買等損益額（1,569,548円）、信託約款に規定する収益調整金（3,407,647円）および分準備積立金（1,371,323円）より分配対象収益は6,979,787円（10,000口当たり3,023円）ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

---

### 1万口当たり分配金（税込み）

しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用)	0円
しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)(投資一任用)	0円

### <約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

第4期

(決算日：2025年11月20日)

しんきん先進国債券インデックスマザーファンドの第4期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	外国の公社債を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①主として外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>②外貨建資産の組入比率については、原則として高位を保ちます。</p> <p>③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
投資制限	<p>①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>③投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑥同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑦外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) <sup>※</sup> (ベンチマーク)		債組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日) 2022年2月18日	円 10,000	% -	ポイント 10,000	% -	% -	百万円 2,999
1期(2022年11月21日)	10,405	4.1	10,387	3.9	99.1	2,515
2期(2023年11月20日)	11,254	8.2	11,232	8.1	98.4	3,039
3期(2024年11月20日)	12,143	7.9	12,084	7.6	98.3	3,771
4期(2025年11月20日)	13,165	8.4	13,110	8.5	98.0	3,997

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本(1万円当たり10,000円)として記載しています。(以下同じ。)

(注2) FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。(以下同じ。)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) <sup>※</sup> (ベンチマーク)		債組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2024年11月20日	円 12,143	% -	ポイント 12,084	% -	% 98.3
11月末	11,914	△1.9	11,996	△0.7	98.3
12月末	12,257	0.9	12,226	1.2	98.3
2025年1月末	12,014	△1.1	12,033	△0.4	97.9
2月末	11,820	△2.7	11,870	△1.8	97.1
3月末	11,945	△1.6	12,013	△0.6	97.9
4月末	11,714	△3.5	11,707	△3.1	97.7
5月末	11,740	△3.3	11,781	△2.5	98.2
6月末	12,026	△1.0	12,033	△0.4	98.4
7月末	12,256	0.9	12,240	1.3	98.1
8月末	12,227	0.7	12,227	1.2	98.0
9月末	12,467	2.7	12,451	3.0	98.1
10月末	12,949	6.6	12,957	7.2	98.0
(期末) 2025年11月20日	円 13,165	% 8.4	ポイント 13,110	% 8.5	% 98.0

(注) 騰落率は期首比です。

※FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第4期の運用経過等（2024年11月21日～2025年11月20日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・2025年10月上旬の自民党総裁選で高市氏が勝利し、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極財政による財政悪化懸念が広がったことから円安基調での推移となったこと。

<下落要因>

- ・2025年4月に相互関税をめぐり、トランプ政権の対応が二転三転したことで、同政権による政策への不信感が強まり、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったこと。

<投資環境>

(米国債券市況)

当期初から2025年1月中旬にかけては底堅い米経済指標や予想を上回る米消費者物価指数（CPI）の伸び率などを背景に市場の利下げ観測に後退が見られる中、米10年国債利回りは上昇基調で推移し一時4.8%程度まで上昇しました。トランプ大統領就任後、打ち出された政策が事前の想定範囲内であり財政悪化懸念が後退したことや、予想を下回るCPIの伸び率等から同利回りは低下基調での推移となりました。4月には相互関税をめぐり、トランプ政権の対応が二転三転したことで、同政権による政策への不信感が強まり、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったことで、同利回りは上昇しました。その後8、9月の米雇用統計が米国の労働市場の冷え込みを示す結果となったため、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待が市場で高まったこと等を背景に、同利回りはおおむね低下基調での推移となり、期末時点では4.1%程度の推移となりました。

(欧州債券市況)

当期初から2024年11月末にかけては12月の欧州中央銀行（ECB）政策理事会で0.5%の利下げが実施されるとの観測が高まったこと等を受け、ドイツ10年国債利回りは低下基調で推移しました。12月のECB政策理

事会で追加利下げが決定されたものの、利下げ加速への期待にECBが否定的な見解を示したと市場で受け止められたこと等を背景に、同利回りは上昇基調で推移しました。2025年3月上旬にドイツのキリスト教民主同盟(CDU)と社会民主党(SPD)が、政府支出の大幅な増加と債務規制の見直しに合意したこと等を受け、ドイツの国債発行が増加するとの見通しが市場で高まり、同利回りは一時2.9%程度まで上昇しました。4月から当期末にかけての同利回りは方向感の乏しい展開となり、おおむね2.4~2.8%のレンジ内で推移しました。

### (為替市況：ドル円市場)

当期初から2024年12月末にかけては、日銀による利上げへの観測の高まりから、円高に推移する場面もありましたが、米国景気の堅調さや、2024年12月の金融政策決定会合で日銀が利上げを見送ったこと等を背景に米ドル高円安基調で推移しました。2025年1月の金融政策決定会合で日銀が利上げを決定したこと等を背景に、米ドル安円高基調に転じました。その後もトランプ政権の政策に対する不透明感が強まったことや世界的な景気減速懸念が高まったことで、市場でリスク回避の動きが優勢になり、さらに米ドル安円高基調で推移し、一時的に140円を割り込む水準まで円高が進行しました。4月下旬から当期末にかけては、日銀の金融政策決定会合で金融政策の現状維持が決定され、植田総裁が記者会見で利上げに対して慎重な発言をしたこと、10月上旬の自民党総裁選で高市氏が勝利し、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極財政による財政悪化懸念が広がったことから米ドル高円安基調での推移が続きました。

### (為替市況：ユーロ円市場)

当期初から2025年5月にかけては、ドイツのCPIやユーロ圏の購買担当者景気指数(PMI)の速報値により上下した欧州国債利回りの影響、日銀による利上げへの観測、ECBによる利下げへの観測等を受けて、ユーロ円はもみ合う展開が続き、おおむね155円から165円のレンジ内で推移しました。その後は、ECBが6月の政策理事会で0.25%の追加利下げを決定しましたが、ラガルドECB総裁が記者会見で、金融サイクルが終わりに近づいている可能性を示唆したことを受け、市場での追加利下げの観測が後退したことや、日銀の金融政策決定会合で、金融政策の現状維持が決定され、植田総裁が記者会見で利上げに対して慎重な発言をしたこと等を受けてユーロ高円安基調での推移が続きました。

## <当ファンドのポートフォリオ>

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末時点におけるファンドの修正デュレーション(金利感応度)は6.18年、時価最終利回りは3.64%となっています。

## <当ファンドのベンチマークとの差異>

当期の基準価額の騰落率は+8.4%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+8.5%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディーフィー(保管費用)などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

## <今後の運用方針>

引き続き、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2024年11月21日～2025年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.021	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	3	0.021	
期中の平均基準価額は、12,110円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2024年11月21日～2025年11月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千ドル 2,956	千ドル 2,917
	カナダ	国債証券	千カナダドル 99	千カナダドル 98
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	337	325
	イタリア	国債証券	107	201
	フランス	国債証券	135	232
	イギリス	国債証券	千ポンド 189	千ポンド 92

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月21日～2025年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千ドル 16,790	千ドル 15,569	千円 2,448,992	% 61.3	% —	% 27.0	% 22.9	% 11.4
カナダ	千カナダドル 1,016	千カナダドル 967	108,309	2.7	—	1.4	1.0	0.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,842	1,725	312,856	7.8	—	4.8	2.5	0.4
イタリア	1,942	1,924	349,004	8.7	—	5.6	2.2	0.9
フランス	2,555	2,213	401,439	10.0	—	6.7	2.5	0.9
イギリス	千ポンド 1,697	千ポンド 1,436	294,880	7.4	—	5.2	1.4	0.8
合 計	—	—	3,915,482	98.0	—	50.7	32.5	14.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー 第4期 ー

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
%	千ドル	千ドル	千円				
アメリカ	国債証券	T-BOND 2.000 08/15/51	2.0	702	409	64,426	2051/8/15
		T-BOND 2.000 11/15/41	2.0	415	291	45,889	2041/11/15
		T-BOND 3.000 02/15/49	3.0	100	74	11,750	2049/2/15
		T-BOND 3.000 05/15/45	3.0	230	178	28,149	2045/5/15
		T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	710	546	85,972	2048/5/15
		T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	120	109	17,287	2039/2/15
		T-BOND 4.000 11/15/52	4.0	352	310	48,821	2052/11/15
		T-BOND 4.250 05/15/39	4.25	190	187	29,434	2039/5/15
		T-BOND 4.375 02/15/38	4.375	160	161	25,474	2038/2/15
		T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	150	148	23,317	2040/5/15
		T-BOND 4.375 11/15/39	4.375	100	99	15,599	2039/11/15
		T-BOND 4.500 05/15/38	4.5	150	153	24,128	2038/5/15
		T-BOND 4.500 08/15/39	4.5	180	181	28,515	2039/8/15
		T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	325	341	53,785	2037/2/15
		T-BOND 5.000 05/15/37	5.0	100	107	16,896	2037/5/15
		T-BOND 5.250 11/15/28	5.25	420	439	69,145	2028/11/15
		T-BOND 6.250 05/15/30	6.25	220	243	38,248	2030/5/15
		T-NOTE 0.375 09/30/27	0.375	310	292	45,958	2027/9/30
		T-NOTE 0.500 05/31/27	0.5	327	311	49,065	2027/5/31
		T-NOTE 0.625 03/31/27	0.625	200	192	30,209	2027/3/31
		T-NOTE 0.625 05/15/30	0.625	240	209	33,011	2030/5/15
		T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	250	216	34,115	2030/8/15
		T-NOTE 0.750 01/31/28	0.75	577	542	85,367	2028/1/31
		T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	240	209	32,926	2030/11/15
		T-NOTE 1.000 07/31/28	1.0	433	404	63,613	2028/7/31
		T-NOTE 1.125 02/15/31	1.125	350	307	48,376	2031/2/15
		T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	150	130	20,527	2031/8/15
		T-NOTE 1.250 12/31/26	1.25	200	194	30,624	2026/12/31
		T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	190	165	26,012	2031/11/15
		T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	520	476	74,918	2030/2/15
		T-NOTE 1.500 11/30/28	1.5	283	266	41,859	2028/11/30
		T-NOTE 1.625 05/15/31	1.625	240	214	33,788	2031/5/15
		T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	330	307	48,343	2029/8/15
		T-NOTE 1.750 11/15/29	1.75	300	279	43,944	2029/11/15
T-NOTE 1.875 02/15/32	1.875	250	222	35,069	2032/2/15		
T-NOTE 2.000 11/15/26	2.0	267	262	41,312	2026/11/15		
T-NOTE 2.250 02/15/27	2.25	267	262	41,282	2027/2/15		
T-NOTE 2.250 08/15/27	2.25	527	515	81,010	2027/8/15		
T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	280	272	42,921	2027/11/15		
T-NOTE 2.375 05/15/27	2.375	200	196	30,892	2027/5/15		
T-NOTE 2.375 05/15/29	2.375	284	272	42,859	2029/5/15		
T-NOTE 2.500 02/15/45	2.5	245	175	27,599	2045/2/15		
T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	294	285	44,861	2029/2/15		
T-NOTE 2.750 02/15/28	2.75	333	327	51,454	2028/2/15		
T-NOTE 2.750 04/30/27	2.75	200	197	31,068	2027/4/30		

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第4期ー

銘柄			当 期 末					
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
					外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円		
	国債証券	T-NOTE 2.750 08/15/32	2.75	270	252	39,643	2032/8/15	
		T-NOTE 2.875 05/15/28	2.875	133	130	20,571	2028/5/15	
		T-NOTE 2.875 05/15/32	2.875	220	207	32,664	2032/5/15	
		T-NOTE 2.875 08/15/28	2.875	283	277	43,695	2028/8/15	
		T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	333	328	51,696	2028/11/15	
		T-NOTE 3.375 05/15/33	3.375	150	144	22,743	2033/5/15	
		T-NOTE 3.500 02/15/33	3.5	350	340	53,625	2033/2/15	
		T-NOTE 3.875 08/15/33	3.875	100	99	15,646	2033/8/15	
		T-NOTE 3.875 11/30/29	3.875	230	231	36,467	2029/11/30	
		T-NOTE 4.000 02/15/34	4.0	200	200	31,470	2034/2/15	
		T-NOTE 4.125 11/15/32	4.125	90	91	14,357	2032/11/15	
		T-NOTE 4.250 02/28/31	4.25	220	225	35,444	2031/2/28	
		T-NOTE 4.375 05/15/34	4.375	310	318	50,020	2034/5/15	
		T-NOTE 4.375 11/30/28	4.375	350	357	56,270	2028/11/30	
		T-NOTE 4.500 04/15/27	4.5	200	202	31,820	2027/4/15	
		T-NOTE 4.500 11/15/33	4.5	240	248	39,116	2033/11/15	
		T-NOTE 5.375 02/15/31	5.375	200	215	33,898	2031/2/15	
小 計						2,448,992		
カナダ				千カナダドル	千カナダドル			
	国債証券	CAN 0.500 12/01/30	0.5	31	27	3,090	2030/12/1	
		CAN 1.000 06/01/27	1.0	51	49	5,586	2027/6/1	
		CAN 1.000 09/01/26	1.0	19	18	2,105	2026/9/1	
		CAN 1.250 06/01/30	1.25	31	28	3,243	2030/6/1	
		CAN 1.500 06/01/31	1.5	45	41	4,677	2031/6/1	
		CAN 1.500 12/01/31	1.5	61	56	6,280	2031/12/1	
		CAN 2.000 06/01/28	2.0	98	96	10,828	2028/6/1	
		CAN 2.000 06/01/32	2.0	51	47	5,368	2032/6/1	
		CAN 2.000 12/01/51	2.0	81	58	6,500	2051/12/1	
		CAN 2.250 06/01/29	2.25	35	34	3,864	2029/6/1	
		CAN 2.250 12/01/29	2.25	70	68	7,697	2029/12/1	
		CAN 2.500 12/01/32	2.5	70	67	7,561	2032/12/1	
		CAN 2.750 06/01/33	2.75	109	106	11,916	2033/6/1	
		CAN 2.750 09/01/27	2.75	20	20	2,249	2027/9/1	
		CAN 2.750 12/01/48	2.75	67	57	6,451	2048/12/1	
		CAN 3.500 03/01/28	3.5	80	81	9,147	2028/3/1	
		CAN 4.000 06/01/41	4.0	47	49	5,568	2041/6/1	
		CAN 5.750 06/01/29	5.75	50	55	6,171	2029/6/1	
小 計						108,309		
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ			
	ドイツ	国債証券	DBR 0.000 02/15/31	—	37	32	5,959	2031/2/15
			DBR 0.000 02/15/32	—	146	125	22,842	2032/2/15
			DBR 0.000 08/15/29	—	72	66	12,061	2029/8/15
			DBR 0.000 08/15/30	—	60	54	9,802	2030/8/15
			DBR 0.000 08/15/30	—	50	45	8,166	2030/8/15
			DBR 0.000 08/15/31	—	46	40	7,305	2031/8/15
			DBR 0.000 08/15/31	—	100	87	15,888	2031/8/15

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第4期ー

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/50	—	130	58	10,553	2050/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	86	81	14,706	2029/2/15
		DBR 0.250 08/15/28	0.25	142	135	24,547	2028/8/15
		DBR 0.500 08/15/27	0.5	79	77	13,966	2027/8/15
		DBR 1.250 08/15/48	1.25	82	55	10,115	2048/8/15
		DBR 2.300 02/15/33	2.3	163	160	29,166	2033/2/15
		DBR 2.400 11/15/30	2.4	70	70	12,745	2030/11/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	131	133	24,171	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	101	112	20,353	2037/1/4
		DBR 4.250 07/04/39	4.25	90	102	18,619	2039/7/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	101	107	19,575	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	136	158	28,725	2034/7/4
OBL 1.300 10/15/27	1.3	20	19	3,582	2027/10/15		
イタリア	国債証券	BTPS 0.450 02/15/29	0.45	88	82	15,009	2029/2/15
		BTPS 0.600 08/01/31	0.6	100	88	16,038	2031/8/1
		BTPS 1.350 04/01/30	1.35	240	228	41,355	2030/4/1
		BTPS 1.650 03/01/32	1.65	50	46	8,423	2032/3/1
		BTPS 1.800 03/01/41	1.8	160	122	22,141	2041/3/1
		BTPS 2.000 02/01/28	2.0	170	169	30,728	2028/2/1
		BTPS 2.150 03/01/72	2.15	35	20	3,773	2072/3/1
		BTPS 2.250 09/01/36	2.25	60	53	9,685	2036/9/1
		BTPS 2.500 12/01/32	2.5	99	95	17,361	2032/12/1
		BTPS 3.350 03/01/35	3.35	78	78	14,192	2035/3/1
		BTPS 3.850 09/01/49	3.85	57	54	9,885	2049/9/1
		BTPS 4.000 10/30/31	4.0	100	106	19,289	2031/10/30
		BTPS 4.050 10/30/37	4.05	150	156	28,360	2037/10/30
		BTPS 4.750 09/01/44	4.75	67	73	13,371	2044/9/1
		BTPS 5.000 09/01/40	5.0	175	198	36,003	2040/9/1
		BTPS 5.750 02/01/33	5.75	120	140	25,509	2033/2/1
BTPS 6.500 11/01/27	6.5	193	208	37,875	2027/11/1		
フランス	国債証券	FRTR 0.000 05/25/32	—	100	82	14,991	2032/5/25
		FRTR 0.000 11/25/30	—	102	89	16,176	2030/11/25
		FRTR 0.500 05/25/29	0.5	34	31	5,762	2029/5/25
		FRTR 0.500 05/25/40	0.5	206	130	23,609	2040/5/25
		FRTR 0.750 02/25/28	0.75	185	178	32,451	2028/2/25
		FRTR 0.750 05/25/28	0.75	70	67	12,222	2028/5/25
		FRTR 0.750 11/25/28	0.75	74	70	12,791	2028/11/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	210	178	32,430	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	303	243	44,109	2036/5/25
		FRTR 1.250 05/25/38	1.25	140	105	19,194	2038/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	122	114	20,681	2031/5/25
		FRTR 1.500 05/25/50	1.5	229	134	24,457	2050/5/25
		FRTR 2.000 11/25/32	2.0	111	103	18,820	2032/11/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	115	114	20,749	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	186	187	34,086	2027/10/25
		FRTR 3.000 05/25/33	3.0	150	148	26,977	2033/5/25

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー 第4期ー

銘柄				当 期 末				
				利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
				%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ユーロ	フランス	国債証券	FRTR 4.000 10/25/38	4.0	110	113	20,537	2038/10/25
			FRTR 4.500 04/25/41	4.5	28	30	5,450	2041/4/25
			FRTR 5.500 04/25/29	5.5	80	87	15,938	2029/4/25
			小 計				1,063,300	
イギリス	国債証券	UKT 0.125 01/31/28	0.125	80	74	15,226	2028/1/31	
		UKT 0.250 07/31/31	0.25	76	61	12,650	2031/7/31	
		UKT 0.375 10/22/30	0.375	55	46	9,526	2030/10/22	
		UKT 0.625 07/31/35	0.625	52	36	7,398	2035/7/31	
		UKT 0.875 01/31/46	0.875	100	45	9,353	2046/1/31	
		UKT 0.875 07/31/33	0.875	162	125	25,708	2033/7/31	
		UKT 0.875 10/22/29	0.875	37	33	6,795	2029/10/22	
		UKT 1.125 10/22/73	1.125	15	4	938	2073/10/22	
		UKT 1.250 07/22/27	1.25	80	76	15,782	2027/7/22	
		UKT 1.625 10/22/28	1.625	68	64	13,166	2028/10/22	
		UKT 3.750 07/22/52	3.75	200	153	31,440	2052/7/22	
		UKT 4.000 01/22/60	4.0	108	84	17,342	2060/1/22	
		UKT 4.125 01/29/27	4.125	80	80	16,482	2027/1/29	
		UKT 4.250 03/07/36	4.25	67	64	13,248	2036/3/7	
		UKT 4.250 06/07/32	4.25	50	50	10,307	2032/6/7	
		UKT 4.250 12/07/27	4.25	58	58	12,040	2027/12/7	
		UKT 4.250 12/07/46	4.25	155	133	27,452	2046/12/7	
		UKT 4.500 09/07/34	4.5	30	29	6,152	2034/9/7	
		UKT 4.500 12/07/42	4.5	144	132	27,276	2042/12/7	
		UKT 4.625 01/31/34	4.625	80	80	16,588	2034/1/31	
小 計				294,880				
合 計				3,915,482				

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,915,482	98.0
コール・ローン等、その他	81,531	2.0
投資信託財産総額	3,997,013	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(3,993,025千円)の投資信託財産総額(3,997,013千円)に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2025年11月20日現在、1ドル=157.29円、1カナダドル=111.96円、1ユーロ=181.34円、1ポンド=205.31円です。

# しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー 第4期ー

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,997,013,313
コール・ローン等	58,081,425
公社債(評価額)	3,915,482,149
未収利息	23,370,691
前払費用	79,048
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	3,997,013,313
元本	3,036,148,126
次期繰越損益金	960,865,187
(D) 受益権総口数	3,036,148,126口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,165円

- (注1) 当親投資信託の期首元本額は3,105,953,414円、期中追加設定元本額は184,989,433円、期中一部解約元本額は254,794,721円です。
- (注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 しんきん外国債券インデックススペシャル(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定) 1,925,252,692円  
 しんきんG7外国債券インデックスファンド(3ヵ月決算型) 1,073,399,181円  
 しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)(投資一任用) 22,429,645円  
 しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用) 15,066,608円
- (注3) 1口当たり純資産額は1,3165円です。

## ○損益の状況 (2024年11月21日～2025年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	106,198,670
受取利息	106,198,670
(B) 有価証券売買損益	214,810,851
売買益	252,837,555
売買損	△ 38,026,704
(C) 保管費用等	△ 789,423
(D) 当期損益金(A+B+C)	320,220,098
(E) 前期繰越損益金	665,569,801
(F) 追加信託差損益金	35,030,567
(G) 解約差損益金	△ 59,955,279
(H) 計(D+E+F+G)	960,865,187
次期繰越損益金(H)	960,865,187

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

### <約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)